

令和7年度第3回岡山市総合教育会議

日 時：令和7年11月13日（木）

午後3時30分～

場 所：岡山市役所本庁舎3階 第3会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 説明事項

第1期・第2期岡山市教育大綱の総括について

3 協議事項

第3期岡山市教育大綱の柱および具体的な取組について

（1）学び続ける力の育成

（2）不登校の子どもへの切れ目ない支援

（3）岡山市への愛着と誇りの醸成

4 閉 会

【課題】

○ 学力の向上

- ・偏差値は、小学校は改善傾向だが、中学校は全国平均を下回る
- ・無解答率の割合が、小・中ともに全国平均を上回る

【目標】

○ 学力の向上

- ・全国学力・学習状況調査の偏差値 小学校51、中学校50

○ 問題行動等の防止及び解決

- ・中学校の暴力行為の発生件数（1,000人当たり）が、9.5件以下
- ・小学校の不登校の出現率 0.42以下

【取組】

○ 学力の向上

- ◎ 公開授業や研究協議等の実施

- ◎ 校長による授業参観（週2回以上）、教員への指導助言

○ 問題行動等の防止及び解決

- 研修会またはケース会議を開催（年間3回以上）

- ◎ 規範意識向上の取組（道徳の授業、非行防止教室等）を全校で実施

学校

教育委員会

- ◎ 学校訪問による学校運営・授業改善への指導助言（学期1回以上）

- ◎ 岡山市独自の学力調査（学力アセス）及び全国学力・学習状況調査と結果を活用した授業改善の推進

学校

教育委員会

- ◎ 学校訪問による問題行動等の実態や対応状況の把握及び学校の対応力の向上に向けた指導助言（学期1回以上）

- ◎ 実際の事例について検討するケース会議での指導及び助言や研修会への講師の派遣を実施

【成果】

- ・全国平均レベル（偏差値50）の学力の達成
- ・小学校・中学校合わせた不登校の出現率は、全国平均に比べ緩やかな増加にとどまる。

【第2期教育大綱策定当時の児童生徒に関する課題】 【学力向上に関する目標】

△記述式問題の正答率の改善が不十分

- ・身についた知識を関連づけて答えを導き出す力が弱い。
- ・考えの理由を明確にして説明する力が弱い。

△英語力が全国平均レベルに達していない。

全国平均レベル以上の学力

※全国学力・学習状況調査の偏差値50以上

【目標達成に向けた取組】

学校

教育委員会

◎ 校長の校内授業参観・指導助言(週2回)

◎ 学力調査等の結果を活用した授業改善

△ 児童生徒が議論し合う活動や探究する活動を取り入れた授業づくり

◎ 学校訪問による学校運営・授業改善への指導助言(学期1回)

◎ 授業改善に向けた学校の「改善プラン」への取組に指導助言(年4回)

○ 若手教職員の研修等の充実

△ ICTツールの導入と活用事例の提示による支援

【目標】

達成

【指標】

達成

未達成

・全国平均レベル以上の学力

※全国学力・学習状況調査の偏差値50以上

・自分の考えを整理して伝えることができる児童生徒の増加

※全国学力・学習状況調査の記述式問題の正答率の対全国比(市の正答率/全国の正答率)を1以上

・情報を収集し、考えをまとめて発表している児童生徒の増加

※探究的な学習をしていると感じる児童生徒の割合を全国平均レベル以上

	小・国	小・算	小・理	中・国	中・数	中・英	中・理
R3	50	50		50	50		
R4	51	50	50	50	50		50
R5	50	50		50	51	50	
R6	50	50		50	50		
R7	50	50	50	50	50		507 (※)

※IRTスコア

	小・国算	中・国数
R3	1.01	0.98
R4	1.03	0.99
R5	1.01	1.00
R6	1.00	0.99
R7	1.00	1.00

	小	小・全国	中	中・全国
R3	71.5	73.0	73.0	70.2
R4	71.5	72.7	71.9	72.1
R5	72.2	74.8	71.6	72.6
R6	78.3	81.3	80.0	82.2
R7	79.1	82.3	78.8	79.5

【今後の課題】

自らの考えの発信力の向上や探究的な学習の充実を図る必要がある。

【第2期教育大綱策定当時の児童生徒に関する課題】

△ 新たな不登校児童生徒の増加と長期化

【不登校児童生徒に関する目標】

新規不登校児童生徒数の減少

新規不登校児童生徒数（小・中合計）の出現率
0.47%以下

【目標達成に向けた取組】

学校

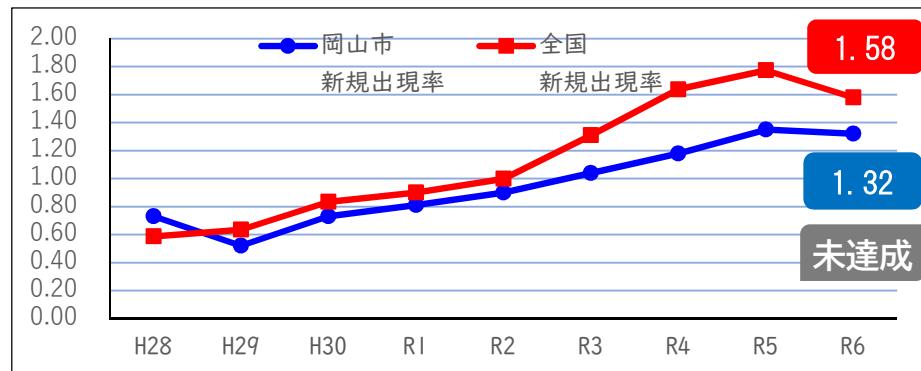
教育委員会

- 不登校で年間10日以上欠席した児童生徒を対象に作成した「個別の支援計画」に基づいた組織的な支援
- 端末を活用した「心の健康観察」を実施し、学校生活に不安がある児童生徒の早期発見・早期対応

- 校内支援教室へ新たに教員を配置し、校内での居場所を確保

- 児童生徒支援教室「そよかぜ平福」の新設やアウトリーチによる支援室「りんくす」の新設

●岡山市と全国との新規不登校出現率の比較



【結果】

- ・ 新規不登校児童生徒の出現率は全国平均よりも緩やかな増加にとどまったものの、目標の達成に至らなかった。

【考察】

- ・ 個別の支援計画に基づいて組織的な支援がなされた結果不登校の抑制には一定の効果が見られた。さらに個別の支援計画の充実を図ることが重要である。

【今後の重点】

①個別の支援計画の充実

- 専門家によるアセスメントに基づく定期的な見直し

②多様な居場所づくり

- 校内支援教室・児童生徒支援教室等の拡充
- サポート体制について、関係部局と議論

第1・2期教育大綱の総括

○ 学力の向上

- ◆ 授業改善への指導助言（学期1回以上）
- ◆ 学力調査の結果分析の活用の推進
- ◆ 校長の授業参観・助言（週2回以上）
- ◆ 公開授業や研究協議会の実施

○ 基礎的な学力（目標達成）

△ 自ら行動に移すこと（実践力）

△ 発信力、探究的な学習

○ 問題行動等の防止 および解決

- ◆ 指導や支援の指導助言（学期1回以上）
- ◆ 個別支援計画の早期作成（欠席10日）
- ◆ 端末を活用した「心の健康観察」の実施
- ◆ 校内支援教室への教員の配置、校内の居場所づくり
- ◆ 児童生徒支援教室やアウトリーチによる支援室の新設
- ◆ 研修会やケース会などの組織的な取組

○ 新規不登校児童生徒の出現率は緩やかな増加にとどまった

△ 新規不登校児童生徒の出現率は増加した（目標未達成）

△ 個別の支援計画のさらなる充実

△ 多様な居場所づくり、関係部局との議論

国の教育振興基本計画のコンセプト

- ◆ 持続可能な社会の創り手の育成
- ◆ 日本社会に根差したウェルビーイングの向上

発展・拡充

○ 考える力の基礎となる学力と発信力

生涯にわたって学び続けるために必要となる、考える力の基礎となる学力と、自らの考えを表現したり発信したりする力

これからの岡山っ子に必要なもの

新規

○ 地域や社会とつながり、貢献しようと思う心・実践する力

つながりや達成などからもたらされる自己肯定感を基盤として、社会のために何かしてみたいと思う心や行動に移す力

自己実現

夢や目標をもつ
自己肯定感

社会貢献意識

協働性
地域への愛着・誇り

社会の現状と変化・時代の潮流

- ・ 将来の予測が困難な時代（VUCA）
- ・ 少子化、人口減少、高齢化
- ・ 地球規模課題（資源、気候など）
- ・ 低い労働生産性、学ばない社会人
- ・ デジタル技術の急速な発展
- ・ 多様な価値観

第3期教育大綱の柱

発展・拡充

○ 学び続ける力の育成

「基礎的な学力」に加え、「探究的な学び方」を身に付けることを通して、自他を尊重し、協働して社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓く持続可能な社会の創り手となるよう、「学び続ける力」を育成する。

授業改善（ICT活用含む）の推進

探究的な学習の充実

発展・拡充

○ 不登校の子どもへの切れ目ない支援

子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、多様な学びの場を設定することで、子どもの実態に合った適切な指導及び支援を切れ目なく保障していく。

学びの機会・場の提供

個別の支援計画のさらなる充実

関係部局間の連携

新規

○ 岡山市への愛着と誇りの醸成

子どもが、地域の自然や歴史、文化などの魅力を知り、親しみ、愛着や誇りを醸成するとともに、地域や社会と自分との関わりから自分の役割や生き方について考える教育を推進する。

自然や歴史、文化などを学ぶ機会の創出

自分の生き方を考えるキャリア教育の推進

発展・拡充

○ 学び続ける力の育成

「基礎的な学力」に加え、「探究的な学び方」を身に付けることを通して、自他を尊重し、協働して社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓く持続可能な社会の創り手となるよう、「学び続ける力」を育成する。

授業改善（ICT活用含む）の推進

探究的な学習の充実

発展・拡充

○ 不登校の子どもへの切れ目ない支援

子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、多様な学びの場を設定することで、子どもの実態に合った適切な指導及び支援を切れ目なく保障していく。

学びの機会・場の提供

個別の支援計画のさらなる充実

関係部局間の連携

新規

○ 岡山市への愛着と誇りの醸成

子どもが、地域の自然や歴史、文化などの魅力を知り、親しみ、愛着や誇りを醸成するとともに、地域や社会と自分との関わりから自分の役割や生き方について考える教育を推進する。

自然や歴史、文化などを学ぶ機会の創出

自分の生き方を考えるキャリア教育の推進

【第2期教育大綱で課題として残ったもの】

△自らの考えを工夫して発信する力
・課題解決に向け、学んだことを生かして、考え、根拠を示しながら表現する力が弱い。

△探究的な学び方の習得
・課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の過程を含む学習活動の機会が不十分。



【第3期教育大綱の学力向上に関する目標】

「生きて働く」知識及び技能、「未知の状況にも対応できる」思考力、判断力、表現力等をバランスよく育成し、学びに向かう力、人間性等の高まりを目指す。

全国平均レベルの学力を維持

※全国学力・学習状況調査により確認

探究的な学び方の習得

※探究的な学習をしていると感じる児童生徒の割合

【第3期教育大綱の取組の方針】

持続可能な社会の創り手である子どもたちが、「学力」と「探究的な学び方」を身に付け、生涯にわたり「学び続ける力」をもつ子どもの育成を目指す。

【目標達成に向けた取組】

<継続して取り組むもの>

学校

校長の校内授業参観・指導助言

教育委員会

学力調査等の結果を活用した授業改善

学校訪問による学校運営・授業改善への指導助言

<特に力を入れて取り組むもの>

児童生徒が探究する活動を取り入れた授業づくり

授業改善に向けた学校の「改善プラン」への取組に指導助言

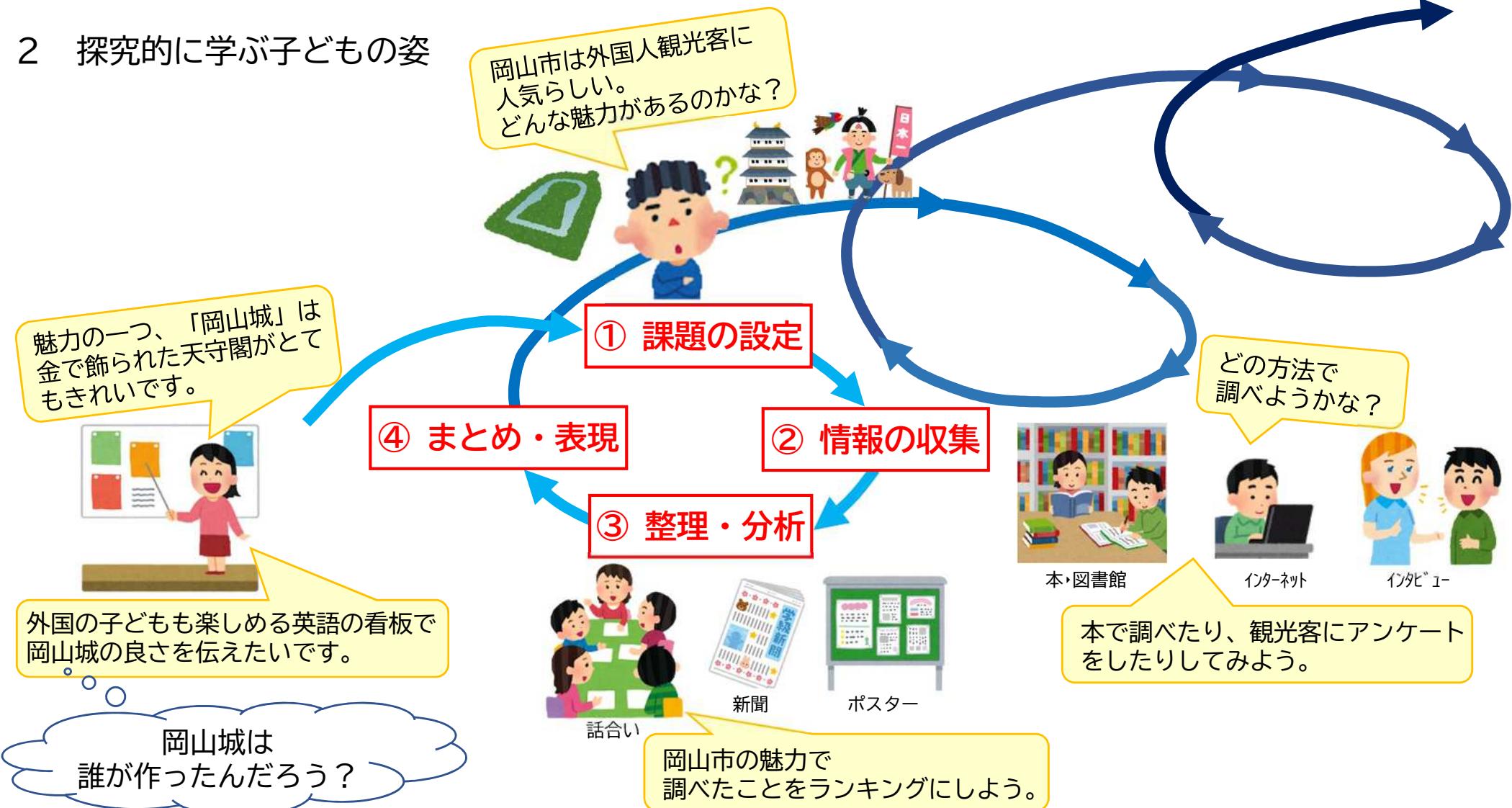
総合的な学習の時間の充実に向けた授業改善への指導助言

児童生徒が学習の成果をより多くの人に伝えることができる場の設定

1 「探究的な学習」とは・・・



2 探究的に学ぶ子どもの姿



【第2期教育大綱で課題として残ったもの】 **【第3期教育大綱の不登校支援に関する目標】**

- △新規不登校児童生徒の出現率の抑制
 - ・取組による一定の効果は見られたが、大幅な減少には至らなかった。
- △個別の支援計画の定期的な見直し
 - ・専門家のアセスメントに基づく定期的な見直しが不十分。



学びの機会・学びの場の提供

個別の支援計画のさらなる充実

※個別の支援計画を作成している割合

関係部局間の連携

※具体的なサポート体制の構築

【第3期教育大綱の取組の方針】

不登校の子どもの実態に合った適切な指導と切れ目ない支援を行う

【目標達成に向けた取組】

<継続して取り組むもの>

学校

教育委員会

校内支援教室等で効果的な指導・支援

校内支援教室・児童生徒支援教室等を拡充

欠席10日以上で個別の支援計画の作成

個別の支援計画作成のための支援

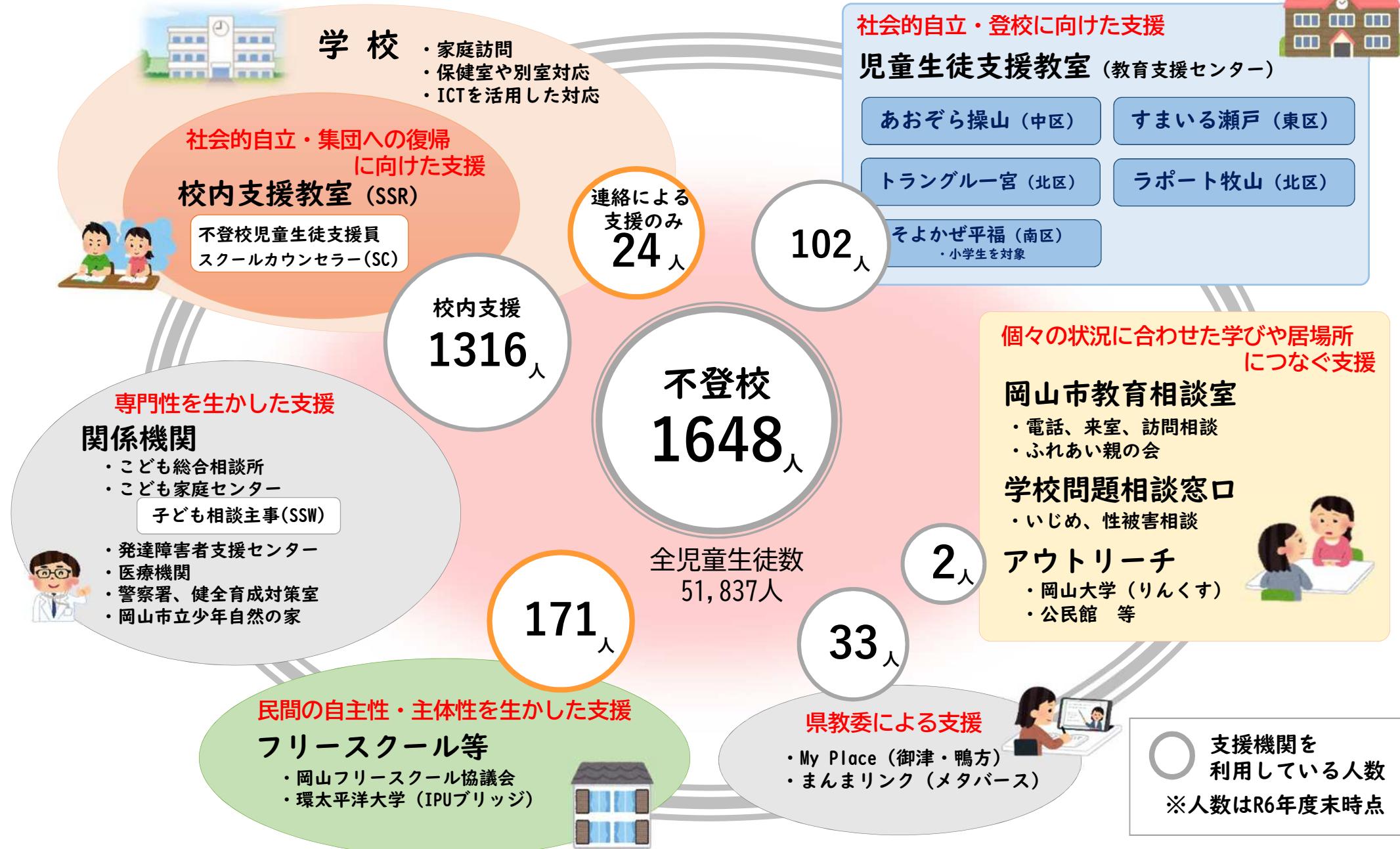
<特に力を入れて取り組むもの>

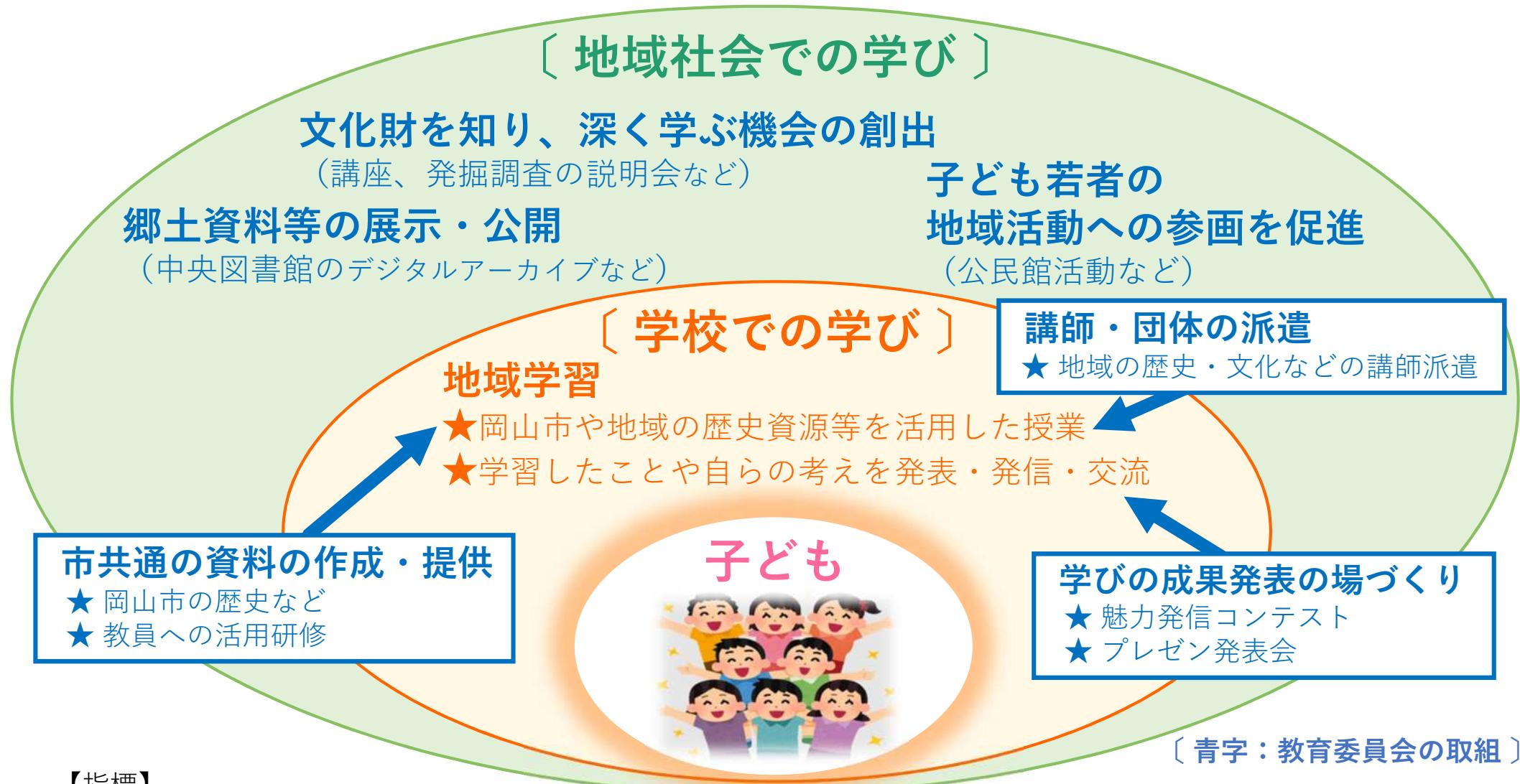
専門家のアセスメントに基づく、個別の支援計画の見直し

医療や心理の専門家を学校に派遣

関係部局と連携して、サポート体制を充実

不登校児童生徒と保護者を支える岡山市の取組



**【指標】**

- 地域の歴史・伝統・文化に関する子どもの割合の向上